

自然環境研究領域 履修例

学生の専攻分野・ 出身背景等(例)	地域の気候形成メカニズムに興味 をもつ学生	生態系について、自然と社会の複 合的な視点から研究したい学生	自然と社会の関わりを見ながら環境 分析手法を研究したい学生
研究テーマ(例)	地形条件による気流と拡散の違い が地域の気候形成に与える影響に 関する研究	都市周辺及び中山間地域における 森林環境の実際の効用と人々の認 識の比較	土砂災害の拡大防止に寄与する植 生の形態とその保全に関する研究
履修科目(例)	<b>必修科目 (14単位)</b> 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(自然環境研究) (8) <b>選択必修科目 (12単位)</b> 【主領域科目】(8) 地球構成物質論 地球表層物質輸送論 表層物質動態論 気候環境生態学 気候変動災害論A・B 【他領域科目】(4) 持続可能地域論 文明共存論 <b>自由選択科目 (4単位)</b> 生物多様性科学(環境科学入門) 環境とコロイド	<b>必修科目 (14単位)</b> 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(自然環境研究) (8) <b>選択必修科目 (12単位)</b> 【主領域科目】(8) 保全生態学 共生微生物学 生物多様性科学(環境科学入門) 気候環境生態学 【他領域科目】(4) 情報システム論 科学・技術・社会論 <b>自由選択科目 (4単位)</b> 地球表層物質輸送論 表層物質動態論 コミュニティ論	<b>必修科目 (14単位)</b> 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(自然環境研究) (8) <b>選択必修科目 (12単位)</b> 【主領域科目】(8) 保全生態学 共生微生物学 気候変動災害論A・B 環境とコロイド 【他領域科目】(4) アジア地域研究 文明共存論 <b>自由選択科目 (4単位)</b> 地球構成物質論 持続可能地域論
教育目標(例)	地球表層環境の変遷と形成史を理 解したうえで、現代社会に現れる自 然環境のさまざまな事象を的確にと らえ、解析・予測し、豊かな環境を保 全・創造・維持するための方策を考 究しうる人材を育成する。	生態系の成り立ちを理解し、現代社 会の生態学的平衡や変動に影響す る要因をとらえて、分析・評価・予測 し、現代社会の持続的発展のため にリーダーシップのとれる人材を育 成する。	すでに活躍中の社会人、又はただ ちに社会のリーダーとして活躍す る人に対し、実践の場における自然環 境問題の解決能力を向上させ、的 確な判断・評価能力と実行力を兼ね そなえた人材を育成する。
授与学位	修士(学術)	修士(学術)	修士(学術)
養成する修了生像 (例)	●大学・研究機関の研究者・教育者 を目指し、博士課程後期へ進学する 者 ●都市環境保全、土地利用計画立 案等に携わる公務員(国、地方)  ●シンクタンク、コンサルタントで、 土木・地質系、地域計画系、政策系 に従事する者	●大学・研究機関の研究者・教育者 を目指し、博士課程後期へ進学する 者 ●地域振興、森林保全に関わる公 務員(国、地方)  ●シンクタンク、コンサルタントで、 環境・森林系、地域計画系、政策系 に従事する者	●防災や国土保全に従事する公務 員(国・地方)  ●環境・森林・土木・地質系コンサ ルタントや商社などで、計画策定・立 案に指導的役割を担う者 ●政府・自治体・NGOなどで防災や 国土保全に従事する者